

天皇の退位等に関する皇室典範特例法案に対する附帯決議に基づく  
政府における検討結果の報告を受けた立法府の対応に関する全体会議  
(令和8年4月15日) 発言概要

○中道改革連合

1. 女性皇族の婚姻後の身分保持及び配偶者・子の身分

- ・党内に反対論はなく、ほとんどの議員が賛成。国民の理解を得られ、歴史とも整合的であり、制度化を検討すべき。
- ・配偶者や子の身分については、賛否いずれも多数を占めず、意見が分かれているため、引き続き党内の合意形成を図るべく議論する。

2. 皇統に属する男系男子の養子縁組

- ・賛成意見が多数だが、「憲法上の問題や国民から理解が得られるか」という懸念を払拭する必要がある」との意見もある。
- ・他に、「時限的な措置とすべき」、「皇室会議の議を経るべき」といった意見もある。

3. その他

- ・熟議を尽くしながら立法府の総意を取りまとめ、国民の総意を見いだしていく基本姿勢の下、幅広い合意形成に最大限の努力をする。
- ・緊急的な課題であることは認識しており、いたずらに先延ばしにすべきではないと考えるが、時期を区切らず丁寧な議論を行い、熟議が尽くせるよう心掛けていく必要がある。